



華となれ!

宮城県仙台二華中学校
学校だより 第3号

【発行日】 令和元年5月17日

【連絡先】 022-296-8101

【文責】 副校長 加茂 博行

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ!」には、社会に貢献できる真のリーダー（「華」＝社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

体育大会開催! めかるんだグラウンドにも負けず

創立記念日でもある5月7日に、天候不順のために4月26日から延期されていた体育祭（陸上）が開催されました。当日は青空が広がる体育祭日和だったのですが、前日に降った雨の影響で、朝の段階ではグラウンドに大きな水たまりがたくさん広がっていました。

一時は開催も危ぶまれたのですが、高校の体育行事委員が中心となってグラウンド整備に奔走し、どうにか12時30分からの開催にこぎつけました。

時間の制約と安全上の配慮から、開催されたのは「大縄跳び」と「クラス対抗リレー」、「部活動対抗リレー」の3種目。それでも、生徒たちは不満げな顔ひとつ見せず、参加する競技を心から楽しんでいる様子でした。

大きなかけ声に歓声とため息が入り交じりながらも、最後は笑顔で終わることができた大縄跳び。転んでもすぐに起き上がり、バトンをつないだクラス対抗リレー。「晴れには晴れの楽しみ方があり、雨には雨の楽しみ方がある」ということを、生徒の一生懸命な姿から学んだ1日となりました。



大縄跳びの競技の前に円陣を組んで、気合いを入れる2年生。

体育祭ハイライト

1 大縄跳び

「せーのっ! 1! 2! 3! ……」中学生も高校生もなぜか同じかけ声で盛り上がる大縄跳び。「もっと縄を大きく回して!」「前の人との間隔をもっと詰めた方がいいよ」など、競技中もお互いにアドバイスを出しながら、頑張っていました。

当初の計画では、競技をする場所が決まっていたのですが、当日はクラスでめかるみの少ない場所を探すというルールに変更されました。場所取りにもクラスの特徴が表れていました。



オリエンテーション合宿でも練習していた1年生。いい結果を得られたクラスもありました。

2 クラス対抗リレー

クラス全員が、協力してバトンをつなぐ全員リレー。一人に割り振られた距離はわずか半周ですが、男女混合ということもあり、どの学年も、抜きつ抜かれつの好レースとなりました。当日はコース内にぬかるみが残っていたこともあり、足を取られて転んでしまう生徒もいましたが、ジャージを泥だらけにしても、すぐに起き上がり、クラスのバトンを懸命につないでいました。中にはたった半周でも、先行する選手をごぼう抜きにする俊足の選手もいて、生徒からの喝采を受けていました。



バトンの受け渡しには各クラスとも作戦があったようです。(写真は3年生)

第54回 C&Gコンサート開催 ホールに響き渡る歌声とギターの音色

4月28日に日立システムズホール仙台で、第54回のC&Gコンサートが開催されました。C&Gとはコーラス(Chorus)とギター(Guitar)の頭文字をとったもので、本校の前身である第二女子高時代から続く歴史と伝統がある行事です。

当日は、大きなコンサートホールを埋め尽くす600名を超える観客に集まっただき、音楽部の合唱とギター部の演奏で、心癒やされる充実した午後となりました。中学生の音楽部員も、大勢の観客に物怖じすることなく堂々と発表していました。



中学生の音楽部員も堂々と演奏しました

学校生活から ~学校生活の1コマを紹介します~

最後に普通の学校生活の様子を紹介します。今回は朝活動(朝読書)です。

仙台二華中では、朝のSHR(ショートホームルーム)の前に、10分間の朝読書を取り入れています。朝読書は「みんなで読む」「毎日読む」「好きな本を読む」「ただ読むだけ」を原則とした活動で、心が豊かになって集中力もあがり、1日を穏やかに始められるといわれています。

朝読書の時間に各教室をのぞいてみると、どの教室もしーんとした静寂の中、生徒たちが思い思いの本を開いています。

若いうちに読書の習慣を身に付けることは、その後の人生を豊かにしてくれます。どの分野の学問も、読書なしでは修められません。本校には約4万冊の蔵書を誇る図書館があります。図書館にも足を運んで、読書の習慣を身に付けてほしいものです。



朝活動(朝読書)の様子。仙台二華中の1日は読書から始まります。